

2024年12月18日

*** 2025年(令和7年) ***

ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション(社長:藤崎 文男)は、日本のお正月の習慣で手書き文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査』を行っています。様々なツールが登場した現在も、年賀状は普段会えない人へのコミュニケーション手段として、一定の支持を集めています。今回で45回目となる本調査は、ビジネスパーソンを対象に11月15日(金)から約2週間にわたり調査を実施し、主な調査結果は下記となりました。

【主な調査結果】

- 年賀状を「出す」人は引き続き減少傾向にある。年賀状を「出す」人は「新年の挨拶」が目的。「出さない」理由は、「LINE等メッセージアプリで代用」が最も多い。郵便料金の値上げは年賀状にはあまり影響無し？
- 年賀状を出す枚数は平均「35枚」。10年前の調査では「60枚」で、年賀状離れは進むものの、今でも「年賀状」は届くとうれしい。出し先では「仕事関係」が減少。もらってうれしい新年の挨拶は「LINE」と「年賀状」が2トップ。
- 年賀状をもらってうれしい相手は「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント」や「家族の写真」、「手書きのイラスト」などのオリジナルの内容や近況がわかる年賀状。
- 年賀状は「友人・知人」や「親類関係」など身近な人や「学生時代の先輩・後輩」、「恩師・恩人」など過去にお世話になった人に出したい。出したいくない相手として「仕事関係」は減少し、「仕事関係に出したいくない」という意識は減少傾向に。
- 年賀状を出す人の9割以上が「手書き箇所あり」。年賀状の手書きは気持ちを伝えることに加え、DMのように見られたくないとする人も多数。
- 半数以上が「年賀状」は「必要」と考えており、今でももらって嬉しいことは変わらない。

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社パイロットコーポレーション

Tel. 03-3538-3700(代表)

〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2024年11月15日(金)~11月29日(金)

サンプル数(概数) : 390人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20代	26	62	88
30代	16	57	73
40代	34	68	101
50代	34	42	75
60代	31	21	52
計	140	250	390

調査対象 : 企業・団体等に勤務する20代~60代のビジネスパーソン

調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

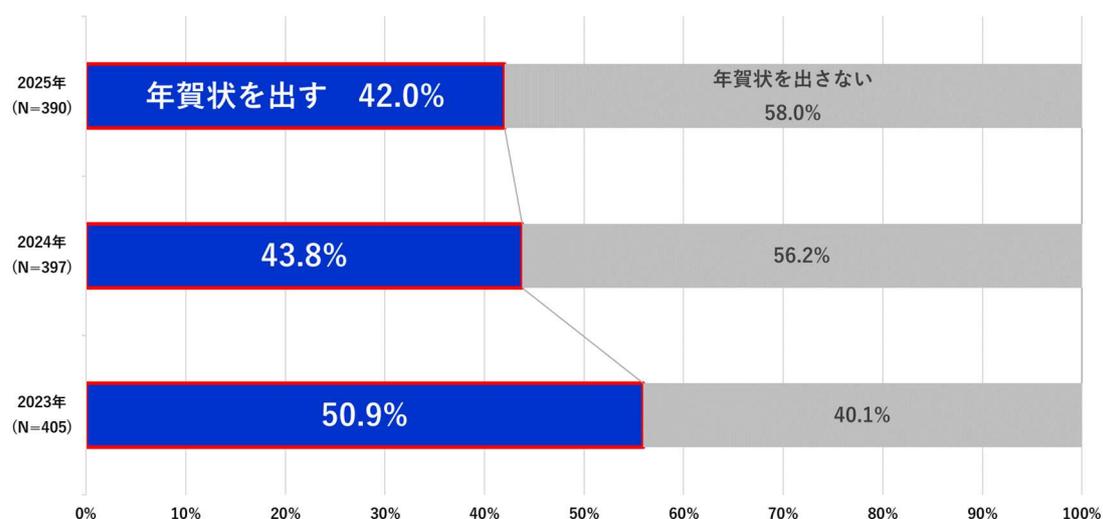
- * 集計データのうち注釈なきものはすべて単数回答を百分率化しました。
- * 単一回答でも小数点の都合上合計値が100%にならないものもあります。
- * 複数回答可の設問では合計値が100(%)を超えます。

※過去の「ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査」をご希望の方は、広報部までご連絡ください。

1. 年賀状を「出す」人は引き続き減少傾向にある。年賀状を「出す」人は「新年の挨拶」が目的。「出さない」理由は、「LINE等メッセージアプリで代用」が最も多い。郵便料金の値上げは年賀状にはあまり影響無し？

2025年の年賀状を出すかどうかを尋ねた<年賀状の予定 1-1>では、年賀状を「出す」と答えた人は42.0%となり、引き続き減少傾向にあることがわかりました。昨年調査と比べ、1.8ポイント減となりました。

1-1. 来年、年賀状（郵便）を出す予定ですか？



<年賀状を出す理由 1-2>では、「新年の挨拶として」(71.3%)、「日頃、御無沙汰しているので」(52.3%)、「毎年、年賀状をもらうので」(38.0%)がトップ3となりました。一方、<年賀状の予定 1-1>で、年賀状を「出さない」と答えた人に<年賀状を出さない理由 1-2>を聞いてみると、「LINE等メッセージアプリで代用」(65.6%)がトッ

プとなり、次いで「準備が面倒」(50.6%)という回答が半数を超えました。2024年10月1日から値上げされた郵便料金については、「出さない」理由を「郵便代の値上げなどコストがかかるため」と選択した回答数は昨年と同調査から4.4ポイント増の13.8%となりましたが、他の「出さない」理由で、「LINE等メッセージアプリで代用」も同様に微増しており、郵便料金の値上げは出さない理由に大きくは影響していないことがうかがえます。

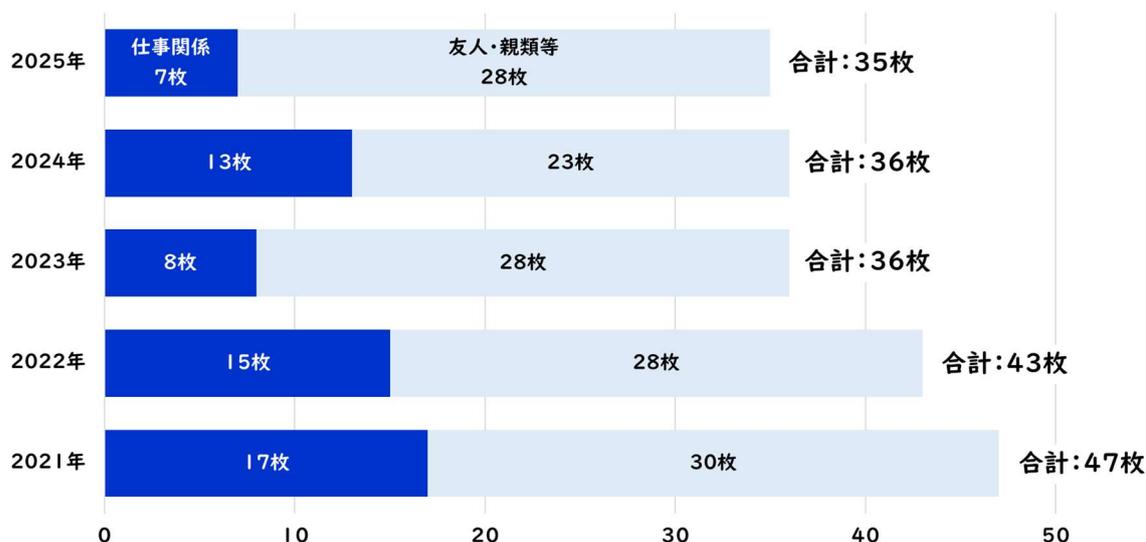
1-2. 年賀状を出す理由 (N=164)、出さない理由 (N=226)

	出す理由	2025年	2024年	出さない理由	2025年	2024年
第1位	新年の挨拶として	71.3%	79.3%	LINE等メッセージアプリで代用	65.6%	61.0%
第2位	日頃、御無沙汰している	52.3%	47.1%	準備が面倒	50.6%	45.7%
第3位	毎年、年賀状をもらうので	38.0%	41.4%	出す相手がいない	25.3%	22.9%
第4位	近況報告	34.9%	15.5%	忙しくて用意できない	23.0%	11.7%
第5位	お世話になっている(なった)ので	28.5%	24.1%	出す習慣がない	21.9%	26.9%
第6位	習慣で・なんとなく	28.5%	21.3%	相手の住所がわからない	19.6%	24.2%
第7位	親しさを表すしるしとして	23.8%	23.6%	SNSで代用	15.0%	32.7%
第8位	手紙をやり取りする貴重な機会	17.4%	30.5%	郵便代の値上げなどコストがかかるため	13.8%	9.4%
第9位	義理・しがらみで	12.7%	14.9%	メールで代用	10.4%	20.2%
第10位	年賀状をもらうのが好き	12.7%	13.2%	喪中	8.1%	9.0%

2. 年賀状を出す枚数は平均「35枚」。10年前の調査では「60枚」で、減少傾向は続き、年賀状離れは進むものの、今でも「年賀状」は届くとうれしい。出し先では「仕事関係」が減少。もらってうれしい新年の挨拶は「LINE」と「年賀状」が2トップ。

<年賀状を出す枚数 2-1>は、平均「35枚」となり、昨年の調査より微減という結果になりました。仕事・会社関係が「7枚」と昨年と比べ大きく減少しました。同僚の住所を知らないなどの要因も考えられます。今回の調査での年賀状を出す予定枚数の最多は40代女性の「150枚」となりました。

2-1. 年賀状の枚数は、何枚くらいを予定していますか？ (数値自由回答 N=164)



<新年の挨拶でもらってうれしい方法 2-2>の問いには、「LINE等メッセージアプリ」(68.0%)がトップ、次いで

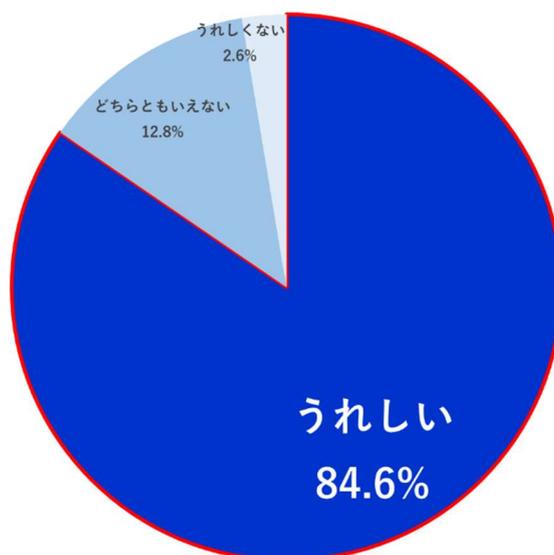
「年賀状」(64.0%)になりました。新年の挨拶は「LINE」か「年賀状」の2トップであることが分かりました。

2-2. 新年の挨拶でもらってうれしいのはどの方法ですか？（複数回答N=390）

第1位	LINE等メッセージアプリ	68.0%
第2位	年賀状	64.0%
第3位	メール	20.0%
第4位	Instagram	8.7%
第5位	電話	8.7%

また、実際に＜年賀状が届くとどう感じるか 2-3＞を聞いてみると、84.6%の人が「うれしい」と回答し、年賀状をもらうことは今でもうれしいと感じる人が多いようです。

2-3. 年賀状が届くとどう感じますか？（複数回答N=390）



3. 年賀状をもらってうれしい相手は「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント」や「家族の写真」、「手書きのイラスト」などのオリジナルの内容や近況がわかる年賀状。

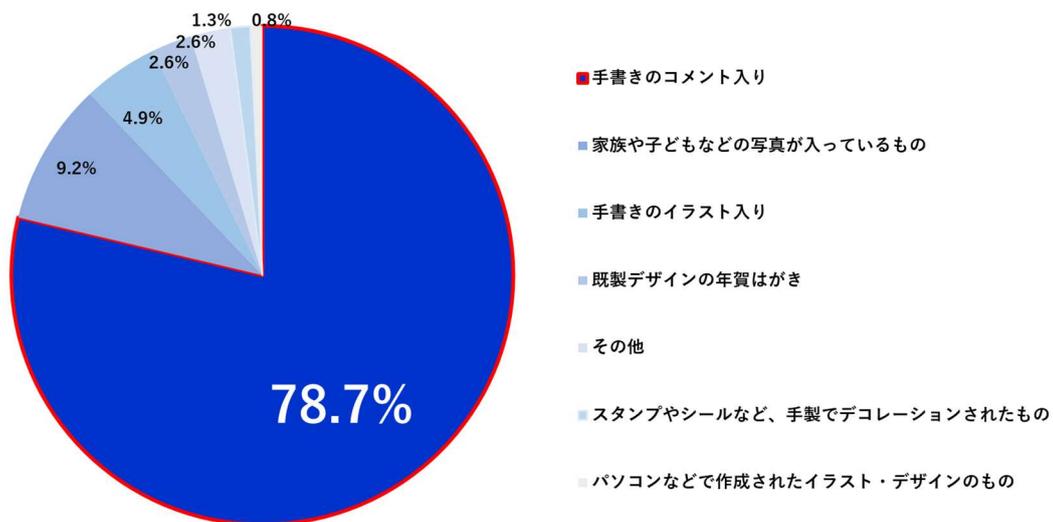
具体的に＜年賀状をもらって一番うれしい相手 3-1＞を聞いてみると、「友人・知人」(53.3%)がトップで、次いで「親類関係」(13.3%)、「特にない」(12.1%)という結果になりました。

3-1. 誰からもらう年賀状が一番うれしいですか？（単一回答 N=390）

第1位	友人・知人	53.3%
第2位	親類関係	13.3%
第3位	特にいない	12.1%
第4位	恩師・恩人	7.9%
第5位	学生時代の先輩・後輩	5.9%
第6位	社外の仕事関係者	2.6%
第7位	その他	2.1%
第8位	会社等の同僚・後輩	1.3%
第9位	彼・彼女	0.8%
第10位	息子・娘・孫	0.8%

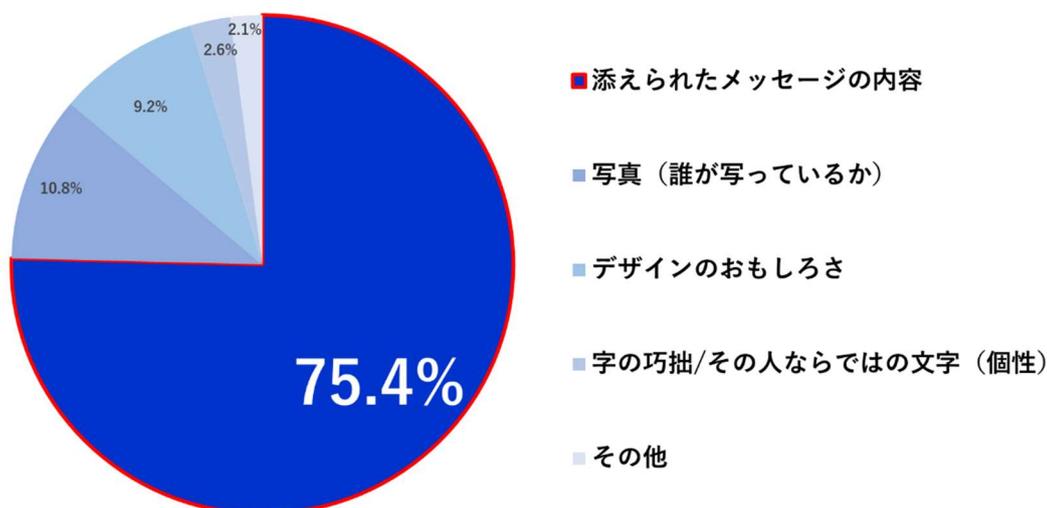
＜届いてうれしい年賀状のタイプ 3-2＞を聞いてみると、「手書きのコメント入り」(78.7%)が多くの支持を集めてトップとなり、次いで、「家族や子どもなどの写真が入っているもの」(9.2%)、「手書きのイラスト入り」(4.9%)などのオリジナルの内容や近況がわかる写真入りの年賀状の人気が高いことがわかりました。

3-2. 届いてうれしい年賀状のタイプはなんですか？（単一回答 N=390）



また、<届いた年賀状のどこが一番気になるか 3-3>では、「添えられたメッセージの内容」(75.4%)が多くの支持を集めていることがわかりました。次いで、「写真(誰が写っているか)」(10.8%)、「デザインのおもしろさ」(9.2%)など、「年賀状を出す人の個性が気になる」という声がありました。

3-3. 届いた年賀状のどこが一番気になりますか？ (単一回答 N=390)



4. 年賀状は「友人・知人」や「親類関係」など身近な人や「学生時代の先輩・後輩」、「恩師・恩人」など過去にお世話になった人に出したい。出したくない相手として「仕事関係」は減少し、「仕事関係に出したくない」という意識は減少傾向に。

<誰に年賀状を出すか 4-1>を尋ねると、「友人・知人」(89.0%)がトップになり、「親類関係」(58.5%)が続きました。また、「学生時代の先輩・後輩」(33.5%)、「恩師・恩人」(31.7%)など、長い付き合いのある、お世話になった人に年賀状を出すという声も見られました。

4-1. 誰に年賀状を出しますか？ (複数回答 N=164)

第1位	友人・知人	89.0%
第2位	親類関係	58.5%
第3位	学生時代の先輩・後輩	33.5%
第4位	恩師・恩人	31.7%
第5位	会社等の上司・先輩	15.9%
第6位	会社等の同僚・後輩	11.0%
第7位	社外の仕事関係者	9.8%
第8位	年賀状友達	3.0%

また、<できれば年賀状を出したくない相手 4-2>について聞いてみると、半数以上が「出したくない人はいない」(50.8%)と回答しました。次いで、「会社等の上司」(30.8%)、「会社等の同僚」(25.4%)、「取引先」(24.1%)、

「部下」(18.7%)と仕事関係がランクインしましたが、仕事関係は前回調査からいずれも数字を下げ、「仕事関係に出したくない」という意識が減少傾向にあることがうかがえました。

4-2. できれば年賀状を出したくない相手は誰ですか？（複数回答N=390）

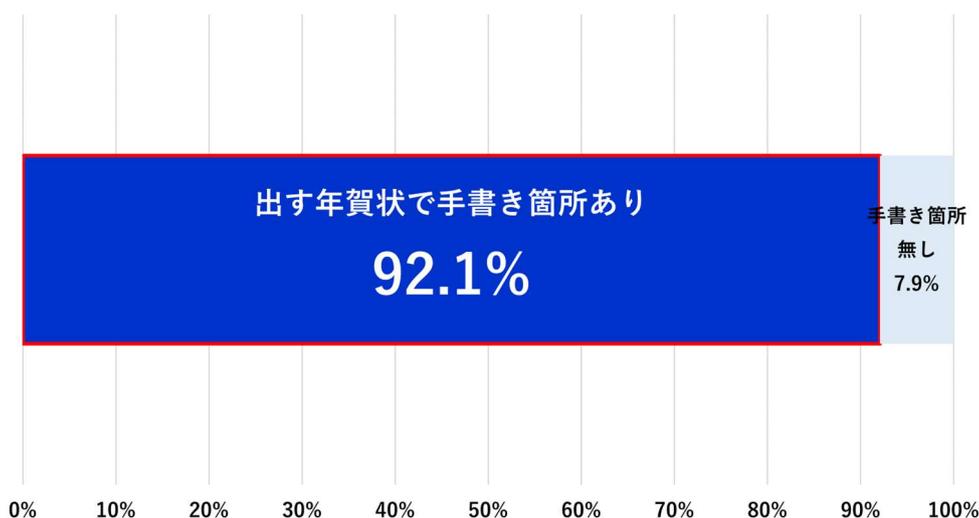
参考：2024年

第1位	出たくない人はいない	50.8%	44.3%
第2位	会社等の上司	30.8%	41.1%
第3位	会社等の同僚	25.4%	33.0%
第4位	取引先	24.1%	27.0%
第5位	部下	18.7%	21.9%
第6位	親類関係	12.1%	7.1%
第7位	年賀状友達	7.4%	5.3%
第8位	その他	3.3%	2.5%

5. 年賀状を出す人の9割以上が「手書き箇所あり」。年賀状の手書きは気持ちを伝えることに加え、DMのように見られたくないとも考える人も多数。

＜年賀状の手書き箇所の有無 5-1＞について、年賀状を出す人の多くが「手書き箇所がある」(92.1%)と多くの支持を集めました。昨年調査(83.3%)からも大きく数字を増やしました。今年は手書きのメッセージを添える意向が高い様子が見られます。

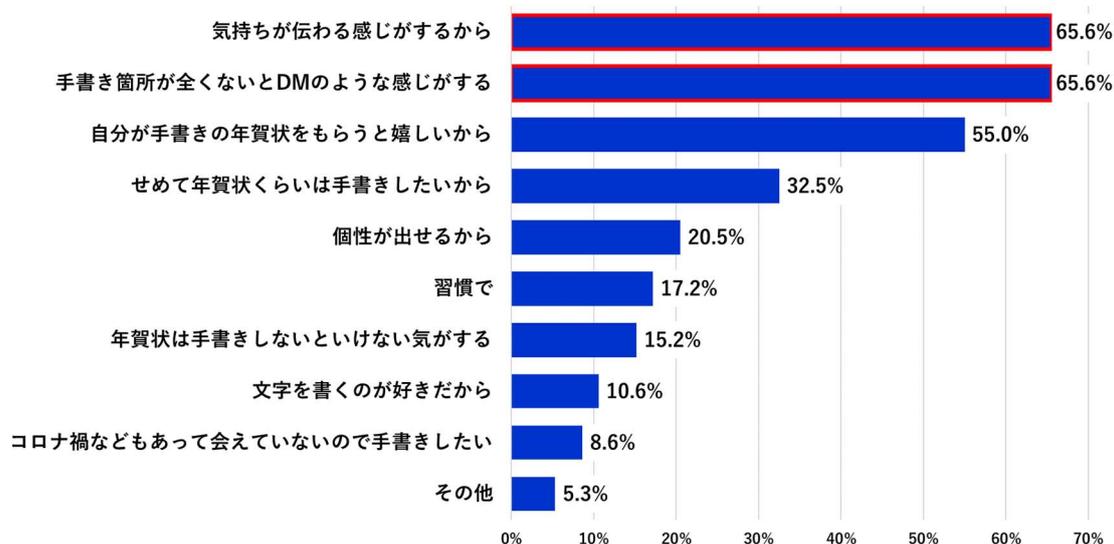
5-1. あなたが出す年賀状で手書きする箇所はありますか？（単一回答 N=164）



また、＜手書き箇所がある 5-1＞と答えた人(N=151)に、＜手書きする理由 5-2＞を聞くと、「気持ちが伝わる感じがするから」(65.6%)、「手書きの箇所がまったくないとDMのような感じがするから」(65.6%)が同数で上位に入りました。次いで、「自分が手書きの年賀状をもらおうと嬉しいから」(55.0%)が入りました。「手書き」は気持

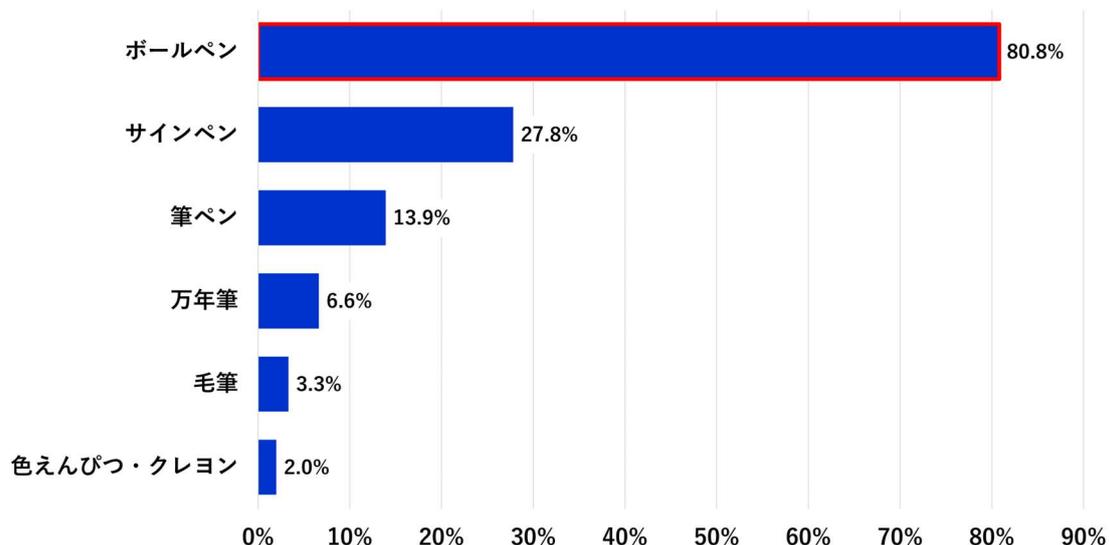
ちを伝えることのできるツールとして考えている人が多いようです。

5-2. あなたが年賀状を手書きする理由はなんですか？（複数回答 N=151）



実際に、＜手書きに使う筆記具はなにか 5-3＞という質問では、インキの色や種類も豊富な「ボールペン」が80.8%と多くを占め、次いで「サインペン」(27.8%)、「筆ペン」(13.9%)が続きました。

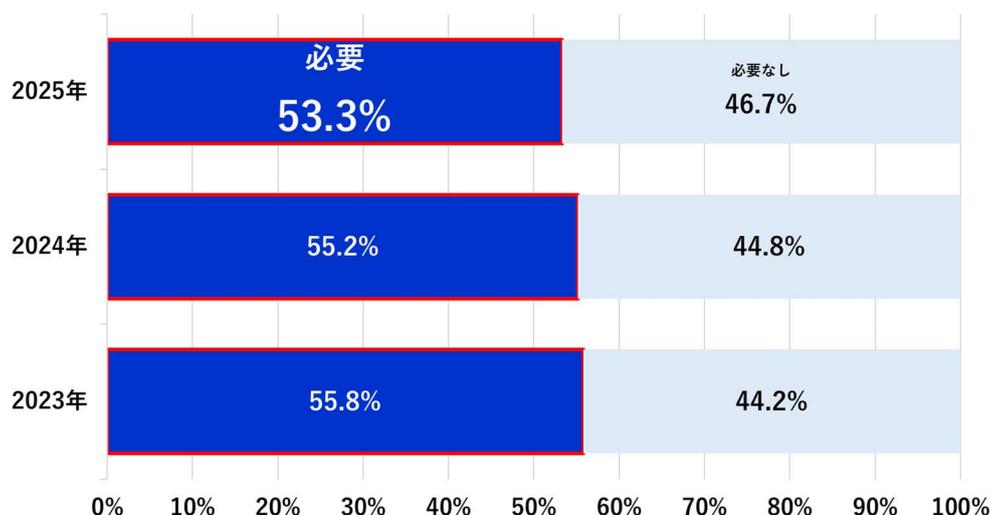
5-3. あなたが年賀状の手書きに使う筆記具はなんですか？（複数回答 N=151）



6. 半数以上が「年賀状」は「必要」と考えており、今でももらって嬉しいことは変わらない。

＜今後、年賀状の習慣は必要か 6-1＞について尋ねたところ、昨年から微減したものの半数以上の人「必要」(53.3%)と答え、年始の習慣である年賀状には一定の支持がある現状がわかりました。

6-1. 今後年賀状の習慣は必要だと思いますか？（単一回答 N=390）



それぞれの理由を聞いてみると、「必要」(N=208)と答えた人の中で、「年賀状をもらって嬉しい」(52.5%)がトップで、年賀状は今でももらって嬉しいものであることがこの結果からもわかります。また、「会えない人との連絡が途絶えてしまい困る」(48.8%)と普段会えない人との連絡ツールとして考えている人や、「お正月らしくなくて寂しい」(43.8%)など季節の風物詩として重視する人がいるようです。一方、「不必要」(N=182)と答えた人の理由を聞くと、準備を手間と考えている人(61.5%)や人間関係に悩まなくてすむ(59.9%)、SNS 等別の手段で代用できること(57.1%)を理由に「不必要」と考えていることがわかりました。

6-2. 今後年賀状の習慣は必要／不必要な理由はなんですか？（複数回答 N=390）

年賀状の習慣があった方がいいと思う理由 (N=208)			年賀状の習慣が不必要だと思う理由 (N=182)		
1位	年賀状が届くと嬉しい	52.5%	1位	準備する手間が省けて楽になる (時間やコスト等)	61.5%
2位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困る	48.8%	2位	「出すor出さない」といった人間関係で悩まなくてすむ	59.9%
3位	お正月らしくなくて寂しい	43.8%	3位	SNS等別の手段で新年の挨拶をおくるので問題ない	57.1%
4位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそう	32.5%	4位	相手の住所がわからない	24.2%
5位	その他	7.5%	5位	クリスマスカードなどで兼用	2.7%